

カワモズク科

カワモズク

Batrachospermum gelatinosum (Linnaeus) De Candolle emend.
Vis et al.

兵庫県ランク… A
環境省ランク… VU

■ 県内分布

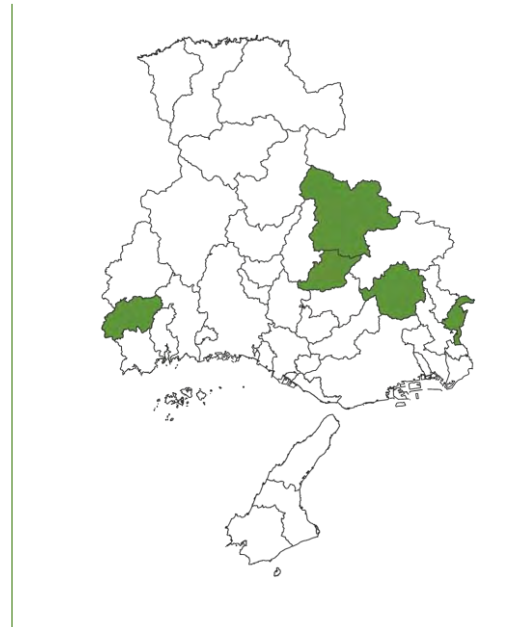
川西市、三田市、西脇市、上郡町、丹波市

■ 国内分布

東京都、千葉県、愛知県、福井県、岡山県、愛媛県等

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

湧泉の近傍に生育する。川西市と西脇市で新たに確認されたが、三田市と丹波市の生育地では最近見られない。



写真提供：佐藤裕司

■ 保護上の留意点

湧水の保全に留意する必要がある。

■ 種の概要

藻体(配偶体)は茶褐色、粘質でヌルヌルする。よく分枝し、太さ0.5-0.8mm、長さ2-12cm。外見上はチャイロカワモズクに似るが、本種では藻体の先端がより細くなる。雌雄同株。顕微鏡で見たとき、雌雄の生殖器官が同時に観察され、1-11個の果胞子体が輪生枝叢内に散在し、杓子形または披針形の受精毛が観察される。平地の湧泉やそれから流出するきれいな流水中の石等に着生。晩秋から早春の時期にみられる。